

令和6年度第4回高松市高齢者保健福祉・介護保険制度運営協議会会議録

高松市附属機関等の設置、運営に関する要綱の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会 議 名	令和6年度第4回高松市高齢者保健福祉・介護保険制度運営協議会
開 催 日 時	令和7年2月19日（水） 午後3時27分～午後4時15分まで
開 催 場 所	高松市防災合同庁舎（危機管理センター）3階301会議室
議 題	(1) 地域密着型サービス事業所の指定・廃止等について (2) 介護予防支援事業所の指定について (3) 指定地域密着型サービス事業予定者の公募選定結果について (4) 地域ケア会議について (5) その他
公 開 の 区 分	☒ 公開 ☐ 一部公開 ☐ 非公開
上 記 理 由	
出 席 委 員	長山会長、大橋職務代理、植中委員、喜岡委員、喜田委員、木村委員、近藤委員、鈴木委員、田中委員、恒石委員、壺内委員、野上委員、前田委員、松村委員、三瀬委員、三井委員、元木委員
傍 聴 者	1人
担 当 課 及 び 連 絡 先	長寿福祉課 087-839-2346 介護保険課 087-839-2326 地域包括支援センター 087-839-2811

審議経過及び審議結果	
1 開会	会議を公開とすることを確認
2 議題	(1) 地域密着型サービス事業所の指定・廃止等について（資料1） (2) 介護予防支援事業所の指定について（資料2） (3) 指定地域密着型サービス事業予定者の公募選定結果について（資料3） (4) 地域ケア会議について（資料4） (5) その他

A委員 〈議題(1)について〉

事業所数は、第9期高松市高齢者保健福祉計画の目標値に対して充足されているか。

また、職員の退職等に対して、人材確保や人材育成など、市が制度的に支援できることはあるか。訪問看護ステーションの運営についても、市が支援できることがあれば教えて欲しい。

事務局 〈議題(1)について〉

地域密着型サービス事業所の指定廃止の目標値については、特に設けていない。グループホームなど総量規制の対象となる施設については、需要を見込んだ上で、計画的に整備を行っている。

運営に関する支援については、介護事業所にとって介護報酬が大きな収入源であると思うので、まずはそちらで対応いただき、また、介護職員処遇改善加算なども活用していただきながら、運営費を確保していただくことになる。介護人材の確保については、本市でも検討している状況である。

A委員 〈議題(1)について〉

今回の診療報酬及び介護報酬の見直しによって、収入に関しても影響があると思う。支援いただけるようであれば、お願いしたい。

B委員 〈議題(1)について〉

施設が増えると、介護職員が増えるのではなく他の事業所に引き抜かれる。行政側が認可をする時に、「引抜きをしないでほしい」と言っていたかないと、条件の良いところに労働者がどんどん流れてしまう。

事務局 〈議題(1)について〉

指定については、条件等が合致していれば指定される。職員の引抜きをしないようお願いして欲しいという話であるが、市役所において制限する根拠が今のところはないため、申し上げにくいのが実情である。

C委員 〈議題(1)について〉

高松市としてはルールがある以上、制限する根拠がないのは分かる。夜勤がある仕事に多く報酬が出るように、保険制度を変えてくれるのが一番スマートであるが難しい。

D委員 〈議題(1)について〉

3点質問がある。

1点目、人材の派遣事業というのがあり、紹介料が高いと聞いたが、派遣を行っている事業所はあるか。

2点目、ベトナム人や韓国人の介護担い手がいると聞いたが、実際に外国人の従事者はいるか。

3点目、休止する場合には、その利用者はどうなっているか。他の事業所に紹介などしているのか。

事務局

〈議題(1)について〉

1点目について、介護事業所から提出された職員の変更届を確認したところ、派遣で対応している事業所も見受けられる。

2点目についても、事業所から提出された勤務体制表を見ると、外国の方の名前もあり、実情として、外国から人材を受け入れている事業所はある。

3点目について、本人や家族に確認した上で、引き続きサービスを利用したい場合は、別の事業所へ引き継ぐようにしてもらっている。休止の届出を出す際に、今の利用者がどうなるのか報告をしていただき、市も確認を行った上で届出を受け付けている。

E委員

〈議題(1)について〉

先ほどの説明でもグループホームは、ある程度、市がコントロールしているということであったが、それにも関わらず、休止をしなければならないということに驚いた。高松市において、施設の経営指導を行っているか。

事務局

〈議題(1)について〉

グループホームの休止ということで、本市も正直驚いた。当該グループホームの休止の理由としては、従業員の退職に伴う人材不足や、施設管理上の支障があることと聞いた。

事業者に対する経営改善については、市において特に行っていない。しかし、公益財団法人 介護労働安定センターでは経営相談も受けているため、そちらの紹介は行っている。

E委員

〈議題(1)について〉

ニーズはあると思う。施設側の立場に立って、職員の確保や対策を行っていただき、できれば再開して欲しいと思う。

C委員

〈議題(1)について〉

介護業界は需要があるのに供給がなく、労働力が減少している珍しいタイプである。行政側から支援や手助けを行っていただけたらと思う。

F 委員 〈議題(4)について〉

この地域カルテはとてもよくできていると思った。どのくらいの地域で作られているのか。当該カルテの閲覧や、データをもらうことはできるか。

また、今後の課題にはなるが、ケアマネジャーと多職種団体とが一緒になって、地域の課題解決に向けて話し合う場を持てるように工夫をしていたきたい。

事務局 〈議題(4)について〉

地域カルテは、全 44 地域について作成中である。また、地域カルテの共有についても可能である。

協議の場については、地域に入っていくことが本市の課題でもあるため、これから一緒に協議の場を作れるようにしたい。

G 委員 〈議題(4)について〉

地域カルテについて、平均との差異は数パーセント程度と見受けられるが、高松市内で大きく異なることはあり得るのか。

事務局 〈議題(4)について〉

お見込みのとおり、似ているところが多い。しかし、それぞれの地域において、若干の変化が出てきているため、地域カルテを作成させていただいた。地域ごとにしっかりと分析を行っていききたい。

G 委員 〈議題(4)について〉

地域ケア小会議について、薬剤師会の中でも回数を増やして欲しいという要望があるがいかがか。

事務局 〈議題(4)について〉

毎年御要望いただいて、回数については検討がされている。多職種での連携であり、他の団体も参加いただいているため、回数についてはある程度調整させていただいている。また、地域ケア会議以外にも、サービス担当者会議の出席もお願いしているところである。御理解いただければと思う。

B 委員 〈議題(4)について〉

地域ケア小会議について、医師等に声をかけていると思うが、私の認識では、参加している人はいない。高松市の場合は、昼間に開催されているため、来てもらえないというのがあるかもしれない。三木町では、介護保険の審査会と同様、地域ケア小会議は夜間に開催し、医師に参加してもらっている。時間をずらす等で医師を入れていただければと思う。

また、介護度が上がっていく原因としては、神経疾患や骨折がある。高松市が実施している骨粗しょう症予防の超音波測定などを更に取り入れていただいて、早期に対応し、介護度が上がらないようにしていただきたい。

加えて、70 歳以上の 100 人に 1 人がパーキンソン病と言われているため、研修を取り入れる等、要介護者を増やさない社会にしていきたい。

事務局

〈議題(4)について〉

自立支援型の介護ケアプランを検討する会議は日中に行っているが、内容によっては主治医の意見を参考にさせていただいている。各種団体と連携しているため、時間の調整を行うことは検討させていただく。

また、困難事例を検討する地域ケア小会議については、必要に応じて主治医の先生に対応いただいている。引き続き、医師会を通じてお願いさせていただくと思う。

介護度が進行しないようにという話であるが、骨折等によって介護度が上がっていくということは重々承知している。本市においては、要支援状態になる前に健康づくりや介護予防に取り組んでいただくということも非常に重要であると考えている。また、若いうちから検診を受けていただくということも必要かと思う。2040 年問題に向けて、今から健康について認識していただいて、要介護にならないような取組を行う。

委員から頂いた御意見については、しっかりと受け止めたい。

B 委員

〈議題(4)について〉

個人的に、医師にも地域の状態を分かってもらわないと、行政だけでは地域をつくれなと思う。

必要に応じて、行政から医師会へ依頼していただけたら、医師会においても検討していきたい。

事務局

〈議題(4)について〉

仕組み作りをさせていただき、検討してまいりたい。

3 閉会